

# 星が丘地域のまちづくり 提言書

住民

自治会

連携

未来の

星が丘のまちづくり

公民館

学校

行政

平成20年5月 星が丘地域まちづくり会議



## 提言にあたって

かつて広大な山林原野であったこの星が丘地域に人々が居住を始めたのは、昭和 17 年、折しも太平洋戦時下、陸軍造兵廠従業員の住まいとして県営住宅が建てられました。当時の住民のほとんどが勤めていた造兵廠に因んで、陸軍の星のマークと、高台から見える星の美しさから「星が丘」(当時は星ヶ丘)と命名され、その後 30 年代より、周辺の千代田、横山地域にも住宅が建ち始め、多くの人々が住むようになりました。

戦後の混乱した中で、人々は互いに助け合い励まし合って、地域住民の緊密な近隣関係が育っていきました。道路をはじめ環境の整備、子どもの教育問題、地域の防災体制など、住民が力を合わせた当時の連帯感は、今日まで脈々と受け継がれてきていると思われます。

その後も、昭和 23 年には星が丘小学校が上溝小学校の分校として開校、翌年 4 月には相模原町立の第 11 番目の小学校として独立開校しました。その後の校舎の増築に伴う校庭の拡張、また星が丘公民館の設置等、当時の住民の努力と強い連帯意識、それに地域への熱い思いによって実現を見ました。

しかし近年、都市化による交通渋滞、緑地や公園、広場の減少、新規転入者の自治会未加入の増加などによるコミュニティの希薄、防犯への不安など、新たな課題が顕著になってきています。加えて、少子高齢の流れの中で高齢者の抱えている問題は一層深刻さを増していきばかりです。

このような中、私たち地域住民の声を市へ提言する機会を頂いたことは、大変意義深いことです。これにより私たちは昨年 9 月、「星が丘地域まちづくり会議」を 22 名の委員によって設立、10 回に及ぶ会議を重ねて住民からの要望や意見も伺ってまいりました。

私たち星が丘地域住民の提言を新しい総合計画及び都市計画マスタープランへ反映させていただくため、これを提出いたします。この要望の趣旨を真摯に受け留めていただき、私たち地域住民と行政のパートナーシップにより、星が丘地域が、住み良く心の休まる優しい町となるよう、施策の一層の推進を強く要望いたします。

平成 20 年 5 月

星が丘地域まちづくり会議

会長 野中 保

# 目次

## 1 星が丘地域について 1

## 2 重点提言項目 3

- (1) 地域でつくる安全で安心なまち
- (2) 地域の将来を担う次世代の育成
- (3) みんなが安心して暮らせるやさしいまち
- (4) 輝く未来を築く地域社会
- (5) 利便性を高める都市基盤の整備・充実

## 3 分野別提言 13

- (1) 防犯・防災
- (2) 環境対策
- (3) 教育・子育て
- (4) 福祉
- (5) 地域コミュニティ
- (6) 基盤整備

## 4 提言図 16

## 5 付属資料 17

- (1) 会議経過
- (2) 委員名簿

## 1 星が丘地域について

### 星が丘地域の現況

星が丘地域は、相模原市の中央に位置し、市役所をはじめとする公共施設や鉄道駅から比較的近く、大変利便性の高い地域であります。

都市基盤は、戦前からの軍都計画で大規模な区画整理が実施されたことなどにより、地域内の道路や下水道などが整備されてきました。

街並みは、きれいに区画され、整然としたすばらしい地域であります。

また、星が丘地域の特徴として、地域の絆が強く、自治会などの団体が率先して行う地域主体のまちづくりがあげられます。

特に、地域をあげての防犯に対する様々な取り組みは、わたしたち星が丘地域の住民が他の地域に先駆けて行っているものであります。

しかし、年々自治会の加入率は低下しており、地域のつながりが段々希薄になりつつあります。今後、一人暮らしのお年寄りが増えていく中で、自治会などコミュニティの役割はより重要になってきます。

その他にも、慢性化する交通渋滞、小学校の通学路の安全確保、公園や広場の整備など、地域内に解決すべき課題は多くあります。

将来的に少子高齢化が進む中で、こどもや高齢者にやさしい環境整備も求められております。

地域の絆という星が丘地域の財産を今後も発展させ、わたしたちの星が丘地域を活気にあふれた素晴らしいまちとするため、わたしたちと行政が連携をより強くして取り組んで行く必要があります。

## 星が丘地域の伸ばすべき点と改善すべき点

わたしたちは、最初に星が丘地域の長所（伸ばすべき点）と課題（改善すべき点）について話し合いました。その主なものは次のとおりです

### 伸ばすべき点

- 道交法改正もあり路上駐車が少なくなった
- 一部地区で歩車分離の導入がされた
- きれいに区画整理されている
- 交通の便が良い
- 地域パトロールが充実している
- 防災訓練を全地区でやっている
- 防犯面では先駆的な取組みが多い
- 消防団の巡回がある
- 道路の落葉など地域清掃が良い
- 住宅地は静かである
- 住みやすいまちである
- 買い物に便利である
- 飲食店が充実している
- 都市景観、街路樹の並木が整っている
- 小学校、公民館、郵便局、子どもセンターなどの公共施設が充実している
- 地域の結束が強い

### 改善すべき点

- 地域内の道路渋滞が慢性化している
- 小学校までの歩道がせまい
- 歩道の凹凸が激しい
- 横断歩道の白線が消えているところが多い
- 信号のない交差点が危険である
- 街路樹が大きくなりすぎ危険である
- 防犯灯が不足している
- 災害時の避難所の整備が必要
- 三角公園の灯りが暗くて防犯上危ない
- ゴミ集積所の適地が少ない
- ゴミ箱が交通の妨げになっている
- 深夜営業の飲食店の騒音問題
- 公民館の駐車場が不足している
- 広場・公園が少ない
- 地域の高齢化が進んでいる
- 救急医療に不安がある
- 自治会未加入者が多い
- 地域活動の参加者が少ない

## 2 重点提言項目

わたしたちは、星が丘地域のまちづくりにあたって、次の5項目について特に重要なものとして提言します。

### ★ 地域でつくる安全で安心なまち ★

星が丘地域では、自治会の主導での防犯活動が大変充実しております。また災害対策でも積極的に防災訓練を行うなど、地域全体での取組みに特色があります。

今後、少子高齢化などによる核家族化が進行する中で、このような地域での取組みはますます重要になってきます。

#### 地域のつながりを活かした防犯活動

星が丘地域では、地域をあげて防犯パトロールを実施しております。「地域の子どもたちは地域が守る」という考えに基づき、様々な取組みを行ってきました。

平成14年から行ってきた「子ども安全ネットワーク」の取組み、防犯ブザーを子どもたちに持たせるといった取組みも星が丘地区自治会連合会の提案で全市的になるなど先駆的な取組みを行ってきております。

また、消防団が自発的に行っている巡回パトロールも特徴的な取組みであると言えます。

近年の犯罪増加や子どもたちを取り巻く危険が増えていることから、地域としても、防犯パトロールの一層の充実などに積極的に取組んでいきます。

地域の安全確保のためには、自治会は、防犯灯の整備など防犯対策の重要な担い手であり、この活動に対する支援の一層の充実について要望します。



地域あげての安全へのとりくみ

### 地域で助け合う防災活動

星が丘地域では、他地域に先駆けて平成12年から夜間訓練を実施するなど、地域をあげての防災活動に取り組んでおります。これからも大規模災害発生時の被害を最小限に食い止め住民の生命を守るため、地域と行政が一体となった活動を行ってまいります。

高齢化が進む中で、一人暮らしの高齢者を地域としてどのように守っていくかが課題であります。このため、日頃からの近所の付き合いを深めていき、非常時に助け合う体制づくりが必要です。



夜間訓練の様子

大勢の人が避難所で生活する際のトイレ対策は重要です。プールの水を活用したトイレ対策などの検討が必要です。

また、避難生活の長期化に備え、災害時には避難所として使用する体育館の冷暖房整備が必要です。



防災備蓄倉庫

災害弱者対策について、地域でも民生委員が中心となって、情報収集やマップの作成などの取り組みを行っていますが、個人情報などの問題があり、実施していく上で困難な点が多々あります。行政でも災害時に地域の力を活用できるような、効果的な方策の検討を要望します。

## 安心して住める地域づくりのための環境対策

わたしたちの星が丘地域は、道路の街路樹が整っており、静かな街並みとあいまって良好な住環境にあると言えます。

地域あげての清掃活動などの結果、道路のごみや落ち葉は少なく、きれいな街並みであります。

しかし、自治会未加入者の増加など地域でのつきあいが段々希薄になっていく中で、ごみ出しのマナーなど様々な問題が生じており、環境対策の充実が求められるようになってきました。

大きくなりすぎた街路樹は、信号や道路標識が見つらい、落ち葉が多い等の問題があります。道路環境に応じた樹種に切り替えるなど適正な配置・管理が必要です。

ごみ集積所の適地が少なく、歩道に設置している場合もあり、歩行者や近所の住民に迷惑がかかっている状況です。設置場所やごみの収集方法等の改善が必要です。

一部の地域でモデル事業として取り組んでいる戸別収集エリアを拡大し、星が丘地域内でも実施していくことを検討するよう要望します。

特に、ごみ出しのマナーの悪さが目立ち、地域でも問題となっております。戸別収集の導入についての検討が必要です。



## ☆☆ 地域の将来を担う次世代の育成 ☆☆

星が丘地域は、学校、公民館、こどもセンターなどの施設が1箇所にまとまっており、地域の活動が行いやすい環境にあります。

特に、こどもセンターなどは、地域における親子の交流の場となっております。これら施設の特徴を活かしながら、地域としての子育て支援策を充実させることが重要です。

### 教育のための環境の整備・充実

わたしたちの地域には、星が丘小学校があります。市街地の中にあつて、広い校庭が備わっているなど恵まれた教育環境にあると言えます。

しかし、道路・交通事情の問題は、通学時における児童の安全確保などに影響を及ぼしており、地域にとっても大きな課題であります。

中学生は、地域外の中学校に通学しておりますが、地域の実情にあった学区など教育制度の検討などが必要であると考えます。



星が丘小学校

児童・生徒やその家族のニーズにあった学校選択ができるよう、自由学区制度の導入も含めた検討について要望します。

不審者対策の強化など、学校の安全対策についての充実が必要です。

教職員の負担などを考慮すると、警備員の配置などの対策が必要と考えます。

通学路の安全確保も課題事項です。小学校付近の交差点は信号待ちの時など児童が交差点にあふれてしまうため大変危険な状況です。交差点周辺の歩道の拡幅が必要です。

また、横断歩道についても奥まったところにあるため、自動車から見えにくいなどの問題があります。ドライバーから見やすい場所に移すなど、改良が必要です。



星が丘小学校前交差点

公園などが少ないことなどから道路がこどもたちの遊び場となっています。しかし、スピードを出して走行する自動車が多く大変危険です。こどもたちの安全確保のためにも制限速度を厳しくするなどの対策が必要です。

#### 子育て支援策の充実

地域内でも、こどもが少なくなっているように感じます。少子化の問題は、国全体が抱える問題であり、星が丘地域だけに限ったことではありませんが、将来にわたって、地域としてこどもに優しい環境をどのように作っていくかが重要だと考えます。

行政でも、放課後こどもプランなど様々な施策を検討していますが、地域と連携のとれた取組みが求められてきます。

学童保育の待機児童は地域の課題であります。だんだんと制度が充実しつつありますが、これからも一層の制度の拡充を図る必要があります。

また、対象外となっている小学校4年生以上の児童についての対策を講じる必要があります。

子育てサロンについて、公民館、千代田4丁目、横山6丁目で実施しています。民生委員を中心として、未就学児の親子を対象に、地域で担っていくものですが、この活動についてバックアップしていく必要があります。

## ★★★ みんなが安心して暮らせるやさしいまち ★★★

星が丘地域の人口は、今後もしばらくの間は増加傾向にあると考えられます。しかし、高齢社会の到来は、地域も例外ではなく、将来にわたって様々な問題が出てくると懸念しております。

わたしたちが、安心して暮らすためには、介護、医療などの福祉施策の充実が特に求められてきます。

### 高齢社会を見据えたまちづくり

今後、高齢者が増加していく中で、地域として、どのように対応していくかが大きな課題となります。

特に多くなってくる一人暮らしのお年寄りについて、地域としてどのように守っていくかが課題であり、行政の福祉施策などとの連携が重要になってきます。

これらの人々の情報などを把握し、助け合うため地域の日頃の付き合いを深めていく必要があります。

買い物など高齢者の外出時にやさしいまちづくりが必要です。

スーパーマーケットでも休憩できる場所がなくなってきました。商店やスーパーマーケットなどの協力も得ながら、バリアフリー化の推進や気軽に休憩できるような場所の確保などが求められております。

### 医療の充実

救急の場合の受け入れ先の問題など、全国的な課題ではありますが、地域としても高齢者が増加する中で、医療体制の整備・充実は重要だと考えます。

休日や夜間に急病になった場合に受診できる医療機関の確保が大切です。

救急車で運ばれる患者の受け入れ可能な病院の確保が必要です。



## ☆☆☆☆ 輝く未来を築く地域社会 ☆☆☆☆

わたしたちの星が丘は地域の結束が固く、公民館を中心とした活動が大変充実しております。

公民館が拠点となり多くの知り合いができるなど、コミュニティを活かした地域の活動は、多くのメリットをもたらしてくれます。

しかし一方では、自治会加入率の低下などの課題もあり、今後の地域コミュニティ充実のための方策が求められております。

### 地域コミュニティの活性化

星が丘地域は、自治会をはじめとする団体、公民館、子どもセンター、学校などがうまく連携した取組みを行っており、大変まとまった地域であると言えます。

しかし、星が丘地域も他の地域と同様の課題を抱えており、自治会の加入率は約60%、場所によっては50%を下回る自治会もあるなど、年々低下傾向にあります。

また自治会などの活動も、参加者は同じ人ばかりになってしまうなどの問題があります。

地域の財産でもある自治会などのコミュニティをより発展させ機能させていくための方策が必要です。

地域で行う様々な活動に、年代を問わず参加してもらうための方策の検討が必要です。

自治会活動は同じ人ばかりが担っている状況です。若い人が気軽に参加できるような企画が必要です。

地域で行う祭や公民館行事などへの参加の呼びかけをするなど、地域に居住する外国人も含めたコミュニティの創出が重要だと考えます。

自治会への加入促進策の強化は重要課題です。

これまでも相模原市に転入してくる人に加入促進の案内を配付するなどの



公民館行事

取組みがされております。これからは自治会に入ることのメリットについて、わかりやすいPRを行う必要があります。行政でも新たな方策の検討を望みます。

自治会の加入促進は、行政だけの役割ではありません。地域や一人一人の住民が、それぞれが出来る方法で取組んでいく必要があります。

自治会加入者が少なくなった中で、自治会活動に対する財政的な支援の充実が必要です。

自治会加入者と未加入者で、不公平感が無いような自治会に対する施策が必要です。

### 地域を活性化する公共施設の整備

今後、公民館などの地域のふれあいの拠点となる施設の役割がますます高くなっていくと思います。

これらの施設の整備・充実などの取組みは、大変重要なものであります。



地域コミュニティの拠点である公民館は、利用団体が多いわりに、駐車場が狭く、団体が工夫してとめている状況にあります。公民館の改修工事にあわせ駐車場の確保を行う必要があります。

星が丘公民館

### 地域ボランティアの充実

高齢化が進んでいく中で、地域での助け合いはますます重要になってきます。男性や若い人も巻き込んだボランティアの創出が必要になります。

地域のボランティアにより、一人暮らしのお年寄りの訪問などの活動を行います。

無償のボランティアでは活動にも限界があると思います。有償ボランティアの導入などの検討も必要だと考えます。

今後は、退職者が多くなるため、男性ボランティアのサークルの設置など検討する必要があります。

大規模災害時など地元で詳しい消防団の活躍が期待できます。消防団の育成や団員の確保が必要です。

## ★★★★ 利便性を高める都市基盤の整備・充実 ★★★★★

わたしたちの星が丘地域は、きれいに区画整理され、整然とした街並みがすばらしい地域であります。また相模原市の中央に位置しており、自転車で相模原、矢部、上溝、淵野辺の4つの駅に行くことができるなど住民にとって大変便利な場所にあります。

しかしながら渋滞の解消しない道路、広場・公園が不足している状況など、都市としての基盤整備は必ずしも十分なものとは言えません。

地域の長所を活かし、利便性の高いまちづくりを進めていくために、地域と行政が連携して取組まなければならない課題は多くあります。

### 車と歩行者のための安全な道路交通網の整備

星が丘地域の道路は、道路交通法の改正もあって路上駐車が少なくなり、これまでに比べて快適で安全になってきました。また、横山公園の周辺など、歩行者と自動車の分離が進み、私たち住民が安心して通行できる環境が整ってきました。

しかし、慢性的な渋滞の原因となる交差点など問題は残っております。

特に小学校の通学路の狭い歩道など、危険な場所も改善されないまま残っております。

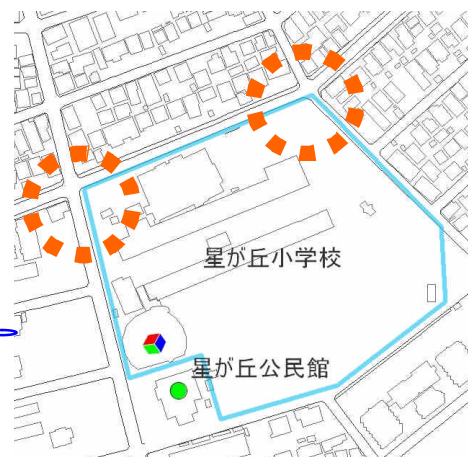
星が丘地域として、高齢者や子どもに優しい道路環境の確保は重要な課題と考えます。

歩行者の安全確保対策のため、歩車分離方式の拡充について通学路からの導入を要望します。

課題となっている交差点の渋滞解消について、右折レーン設置や信号のパターン変更などの方策について検討願います。

星が丘小学校付近の交差点のスクランブル化について検討が必要です。スクランブル交差点とすることで、左折車の巻き込み事故の防止になるなど、児童の安全確保に効果があると考えます。

星が丘小付近のスクランブル化



歩道の凹凸が多く、車椅子など転倒の危険があります。車道のかさ上げなどによる改善策の検討が必要です。

横断歩道の白線が消えているところが多くあります。特に信号機のない交差点に多いので、改修の実施により安全確保を図る必要があります。

星が丘小付近の横断歩道



信号機の無い十字路が危険であり、抜け道をする車が多い中で交差点の出会い頭の事故の危険性があります。カラー舗装や点滅ライトの設置で安全確保を図る必要があります。

横山3丁目7番付近の交差点は、信号機が無く事故が発生しやすい危険な場所です。信号機の設置など対策が必要です。

交通網の整備を前提としたまちづくりを行うよう提案します。

### こどもたちが遊ぶ、地域に憩いをもたらす公園・広場の整備

星が丘地域には、千代田緑道などのロケーションに恵まれた場所も存在します。

しかし、一方では宅地開発などにより、こどもたちが安心して遊ぶことができる広場や公園は減少する一方です。

こどもたちの健やかな成長のためにも、身近な場所に“遊びの場”を確保することは最も重要なことのひとつと考えます。



千代田2丁目、星が丘1丁目、2丁目、横山2丁目などに公園や広場の整備を要望します。

こどもたちが野球などの球技ができる場所がなくなってきています。こういった場所についても整備する必要があると考えます。

### 3 分野別提言

わたしたちが、地域まちづくり会議で話しあった結果、重点項目としてあげたものやそれ以外の課題がありますが、分野別にまとめると次のとおりになります。

#### (1) 防犯・防災

地域パトロールの充実

消防団の巡回パトロールの充実

防犯灯の整備

地域が行う防犯・防災活動への支援充実

避難所の整備（資機材の充実、トイレ対策、冷暖房の整備等）

災害時を想定した訓練の実施

高齢者や障がい者など災害弱者対策

#### (2) 環境対策

街路樹の適正管理（道路環境に応じた樹種への切り替え等）

ごみ集積所、収集方法の改善

個別収集の星が丘地域での実施

深夜営業の飲食店、カラオケ対策（条例等を定めて規制することの検討）

#### (3) 教育・子育て

地域のニーズにあった学校の選択が可能な自由学区制の検討

成人後の人間関係やコミュニティの形成も考慮した学区制度の検討

中学校について学校の選択が自由になるような学区制度の導入

通学路の安全確保

（小学校付近の歩道の拡幅、交差点のスクランブル化、横断歩道の整備等）

不審者対策の強化など学校安全対策の充実

三角公園の再整備



三角公園

子育てサロンに対するバックアップ

(4) 福祉

バリアフリー化、休憩できる場所の提供など高齢者のためのまちづくり  
災害時の避難誘導など効果的な支援策の検討  
休日や夜間に急病になった場合に受診できる病院の確保  
特に夜間に患者の受け入れ可能な病院の増加

(5) 地域コミュニティ

自治会に対する財政的な支援の充実  
各種活動に年代を問わず参加してもらうための方策検討  
自治会加入者と未加入者で不公平感が無いような自治会支援策  
地域で行う祭や公民館行事などへの参加を呼びかけるなど地域に居住する外国人も含めたコミュニティの創出  
公民館行事の参加者を増やし、現状の人的負担を解消するための方策検討  
地域のボランティアによる一人暮らしのお年寄りの訪問  
有償ボランティアの導入の検討  
男性ボランティアのサークルの創設  
消防団の育成、団員の確保  
公民館の駐車場整備

(6) 基盤整備

歩車分離方式の拡充による歩行者の安全確保（通学路からの導入）  
渋滞する交差点について、右折レーン設置や信号のパターン変更などの検討

上溝中坂下交差点の渋滞解消  
星が丘2丁目セブンイレブン前の信号付近の渋滞解消  
横断歩道の改修  
信号の無い十字路の改善、事故防止策  
県営横山団地、相模原高校付近道路  
（市道相模原横山）の拡幅及び歩道の整備  
街路樹の管理適正化  
（道路環境に応じた樹種への切り替えなど）

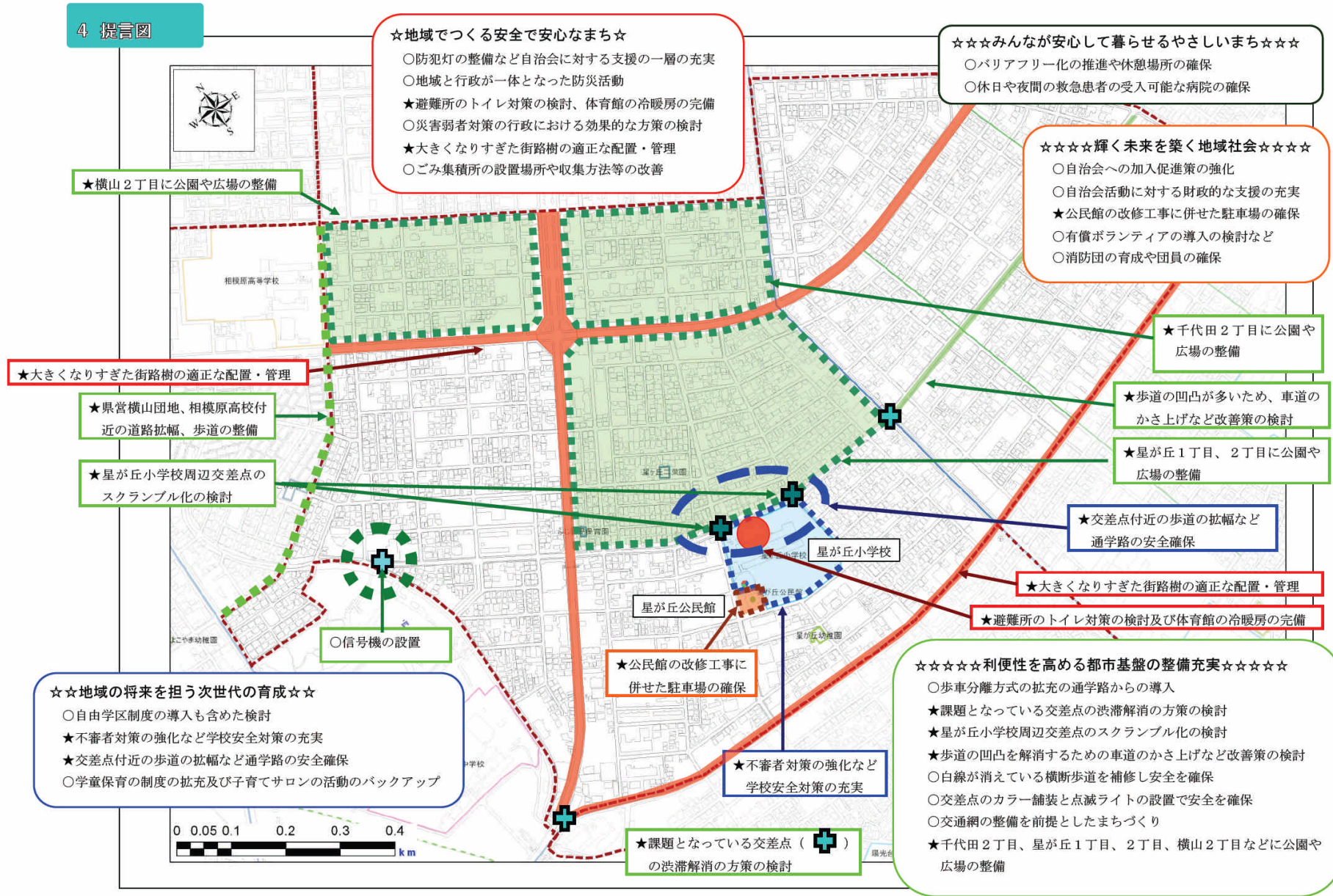
セブンイレブン前信号



通学路の安全確保  
小学校付近の交差点のスクラン  
ブル信号化  
通学路の安全確保  
公園・広場の整備  
(千代田2丁目、星が丘1丁目、  
2丁目、横山2丁目など)  
公園の生垣などの管理の適正化  
三角公園・学校の再整備



#### 4 提言図



## 5 付属資料

### (1) まちづくり会議の開催経過

開催日	会議内容	委員出席数
平成19年 9月20日(木)	第1回地域まちづくり会議 会則(案)について 会長・副会長の選出 新しい総合計画及び新都市計画マスタープランについて 地域まちづくり会議スケジュール・提言イメージについて 会議の進め方について 星が丘地域の現況について	18名
10月23日(火)	第2回地域まちづくり会議 第1回地域まちづくり会議の結果について 会議の進め方について 地域の伸ばすべき点と改善すべき点について 意見発表	17名
11月16日(金)	第3回地域まちづくり会議 第2回地域まちづくり会議の結果について 地域の伸ばすべき点と改善すべき点について 意見発表	17名
12月11日(火)	第4回地域まちづくり会議 第3回地域まちづくり会議の結果について 事務局からのお知らせ(政令指定都市に関する説明会の案内、総合計画・都市計画マスタープランの策定スケジュール変更について) 地域の伸ばすべき点と課題について	15名
平成20年 1月18日(金)	第5回地域まちづくり会議 第4回地域まちづくり会議の結果について 地域の伸ばすべき点と課題について	14名
2月22日(金)	第6回地域まちづくり会議 第5回地域まちづくり会議の結果について 事務局からのお知らせ(説明会、フィールドワークの案内) 提言項目について	16名
3月26日(水)	第7回地域まちづくり会議 第6回地域まちづくり会議の結果について 提言書(素案)について 今後のスケジュールについて	16名
4月19日(土)	第8回地域まちづくり会議 第7回地域まちづくり会議の結果について 地域説明会について 提言書(素案)について	12名

開催日	会議内容	委員出席数
4月25日(金)	地域説明会 提言書(素案)について 意見交換	〔参加者数〕 26名
4月25日(金)	第9回地域まちづくり会議 説明会での意見の提言書への反映について 今後の予定について	16名
5月12日(月)	第10回地域まちづくり会議 提言書(案)について 今後の予定について	12名



地域説明会



地域まちづくり会議

## (2) 星が丘地域まちづくり会議委員名簿

(平成19年9月20日現在)

	氏名	団体等	備考
1	野中 保 〔会長〕	星が丘地区自治会連合会（会長） さがみはら安全・安心まちづくり協議会（支部長）	地域コミュニ ニティ
2	竹田 幹夫	星が丘地区自治会連合会（副会長）	
3	横田 智治	星が丘地区自治会連合会（副会長）	
4	坂本 洋三	星が丘地区自治会連合会（会計）	
5	小泉 博	星が丘公民館（館長）	生涯学習 学校教育
6	若山 美代子 〔副会長〕	星が丘地区青少年健全育成協議会（副会長）	
7	藤澤 重治	星が丘地区子ども会育成連絡協議会（会長）	
8	松崎 美幸	星が丘小学校PTA（副会長）	
9	篠崎 弘行	青少年指導員（地区長）	
10	原口 博	体育指導委員	
11	北畠 和子	星が丘公民館運営協議会	
12	平本 克己	星が丘公民館運営協議会	
13	野中 敬一 〔副会長〕	星が丘地区社会福祉協議会（会長）	健康・福祉
14	吉田 久子	星が丘地区民生委員児童委員協議会（副会長）	
15	佐藤 菜穂子	星ヶ丘二葉園父母の会	
16	大貫 眞一	星が丘地区老人クラブ連合会（会長）	
17	鈴木 綾子	やっきの会	
18	御子柴 直美	星が丘地区交通安全母の会（会長）	安全・安心
19	平田 秀勝	消防団第1分団第9部（後援会長）	
20	黒沼 広明	ひばり商栄会（会長）	産業・経済
21	豊田 里美	公募委員	公募委員
22	奥村 光弘	公募委員	

## 事務局

〔企画政策課〕石原 朗、青井 裕司 〔都市計画課〕山崎 久明 〔地域医療課〕三村 誠  
〔市民協働推進課〕加藤 茂、小野沢 哲也 〔星が丘公民館〕八木 正

